

2018年 TC 46 / SC 4 総会報告

安形輝，宮澤彰

日時：2018年05月17日（木） 9:00-

場所：ポルトガル リスボン ポルトガル国立図書館(National Library of Portugal)

1. Opening of the meeting

2. Roll call of the delegates

参加者の簡単な紹介があった

議長：Juha Hakala (フィンランド)，

Secretary：Sirpa (フィンランド)

SC4 メンバーとして AFNOR(France)2名、ANSI (US) 3名、DS(Denmark)3名、KATS (Korea)2名、SA(Australia)1名、SAC(China)2名、SCC(Canada)2名、IPQ (Portugal) 1名、JISC 3名、GOST (ロシア) 1名、ハンガリー1名、ポルトガル 1名、また、TPM の Ben Carson (ISO/CS) TC46 Secretary, Liaison として ISO/TC37 2名 (TC37 本体 1名、SC2 から 1名)、CalConnect 1名の参加があった。

3. Adoption of the agenda (N1101)

アジェンダの変更。3つのプレゼンテーションの追加があった

4. Appointment of the drafting committee

米国とフランスにより議事録作成が行われることになった。

5. Approval of the 2017 meeting report (N1059)

昨年の議事録を確認した。

6. Action items from the previous meetings

6.1 Seeking Co-Convenor for ISO/TC 37/SC 2/JWG 7 on ISO 639 revision

諸事情により前任者が共同リーダを遂行できなくなったため、後任者を探している

6.2 Standardization of DDI specifications in ISO

DDI 側が仕様を変更し、簡易版の提案があったが、そのままでは IS 化しても意味がないため、再検討中である。

6.3 Co-operation with ISO/TC 154/WG5 to revise ISO 8601

ISO 8601 は日付と時刻の表記に関する国際標準であり、DIS 投票が終わった状況である。チェアが変わり、コメントが多く付いたため、FDIS 投票に回すことになった。

内容的には前版よりも大幅に拡充される予定である。このため実用にはプロファイルを作ることが必要かもしれない。

7. Report of the Secretariat (N1088 and voting report N1089)

事務局より N1088 と N1089 に基づき報告があった。新たに中国が P メンバーに加わった等の報告があった。

8. Working Group reports and Work Item reporting

8.1 Working Group reports

8.1.1 WG11 RFID in libraries (N1090)

- ・諸事情により WG11 リーダとして業務が続けられなくなった前任者に代わりデンマークの Henrik Wendt が任命する。 SC4 決議 01
- ・Leif 氏より N1090 に基づき WG11 の進展に関する報告があった。
- ・ロシアの Timoshenko 氏より ISO 28560-4 の修正案についてプレゼンテーションがあった。内容は EPC Global 側と ISO 28560-4 側に相違があるので、EPC Code に UII を統合する提案を行った。
- ・Leif が Part2 と Part4 のプロジェクトエディタの Paul Chartier のスライドに基づいて回答を行った。いままでの経緯から GS1 の機能を可能にするロシアの提案は現状では実現できないことが示された。
- ・宮澤から、ロシア案では使用に費用が発生することになるという指摘を行った。

8.1.2 WG12 WARC (N1091)

ISO 28500:2017 が 2017 年 8 月に出版され、WG12 の行うべきことは終わったため、解散する。 SC4 決議 02

8.1.3 WG14 Interlibrary Loan Transactions (N1092)

N1092 に基づいて WG14 の進捗について Leif 氏より報告があった。ISO 18626:2014 の改訂版である ISO 18626:2017 が 2017 年 12 月に出版された。仕様部分は、website でメンテナンスし、newsletter で広報している。ExLibris、OCLC など実装の動きが広がってきている。

8.1.4 WG15 Metadata and protocols for long-term preservation (N1093)

N1093 に基づき WG15 の進捗について報告があった。ISO 20614 Data Exchange Protocol for Interoperability and Preservation (DEPIP) が 2017 年 11 月に出版された。この IS の性質より早急な改版の必要はないため、WG15 を解散する。 SC4 決議 03

ISO/CS にこの IS に関して技術情報だけでなくコンテキスト情報も提供することを要請する

8.1.5 WG16 Dublin Core

前日に開かれた WG16 会合の決議案に基づいて報告が行われた。DCMI 版と ISO 版ができてしまうことを防ぐため、DCMI 側の検討結果を DIS 案に反映させるプロセスを採る。そのため、

- 1) WG16 は ISO / TC 46 / SC 4 事務局に対し、2018 年 6 月 15 日までに ISO / CD 15836-2 で CD 投票を開始するよう要請する
- 2) WG16 は、ダブリンコアに新たなアプリケーションプロファイルを追加す

る可能性について、DCMI に連絡し、交渉するように WG リーダに要請する。

- 3) WG16 メンバーは、2018 年 5 月 31 日までに、アプリケーションプロファイルの候補および CD 案へのコメントを ISO / TC 46 / SC 4 事務局に提出する。 SC4 決議 05

8.2 Joint Working Group reports and Work item reports

8.2.1 Activity report of JWG for EPUB (N1094)

N1094 に基づき、JWG リーダの一人の韓国の Sam Oh 氏より報告があった。関連してカナダより質問、3 つの TC (TC46, JTC1/SC34, IEC/TC100) と外部団体 (現在 ePub は W3C) とで運用する JWG の問題は？

Juha より、かなり大変で、3 つの TC というのは完全に限界と思う。

8.2.2 Revision of ISO 639 (N1102)

N1102 に基づいて昨年の総会から今年までの活動報告があった。

8.2.3 ISO standardization of OASIS SRU standard

OASIS SRU(Search and retrieve via URLs)の ISO での標準化について説明があった。進捗しておらず、昨年と同様の状況である。Juha は OASIS と SRU の国際標準化を進めるかどうかについて相談する。

8.2.4 Minor revision of ISO 15511:2011 (ISIL) (N1103)

N1103 に基づいて ISO 15511:2011 (ISIL)の改訂について報告があった。表現や参照に関するマイナーな改訂であるため、FDIS 投票から始める。

SC4 決議 04

9. Registration Agency and Maintenance Agency Reports

9.1 ISIL Registration Authority (N1096)

N1096 に基づいて報告があった。3 つの新しい国が追加された。

9.2 Maintenance Agency ISO 23950 (N1097)

N1097 に基づいて報告があった。Z39.50 については新しいことは何もない

10. Liaison Organisation reports

10.1 Dublin Core Metadata Initiative (N1098)

10.2 Infoterm liaison report (N1099)

10.3 ISO/TC 37 liaison report 2017 (N1100)

Galinski 氏により報告があった。TC37 と正式にリエゾンになった？

10.4 The Calendaring and Scheduling Consortium

総会の直前にリエゾンに承認された CalConnect について Jeffrey 氏によりプレゼンテーションがあった。

Metanorma について説明され、ISO/TC 154 との協調についても提案された。

11. National Body reports

特になし

12. Other business

特になし

13. Future Meeting Schedule

来年はカナダのオタワで TC46 会合週間に合わせて開催する。

14. Approval of Resolutions

決議案が承認された。2 番目として、ロシアからの RFID に関する提案を NP として出すよう invite するという決議案が出されたが、デンマークおよび日本が反対を唱え（あまりないことであるが）議決を行った。結果は反対 4，賛成 1，棄権 7 でこの決議は採択されなかった。

* ISO/TC46/SC4 総会 Resolutions

Resolution 1: ISO/TC46/SC4/WG11 リーダの変更

SC4 は Ole Olesen-Bagneux が諸事情から WG11 リーダを続けられないことを認め、2018 年 5 月 17 日から 2020 年 12 月 31 日までの 3 年間の任期として Henrik Wendt を WG11 リーダに任命する。

Resolution 2: WG12(WARC)の解散

WG12 に割り当てられていた任務が成功のうちに終了し、このプロジェクトに関連する将来的な仕事もないことを確認した。そのため、WG12 リーダである Clement Oury に感謝し、WG12 の解散を決定した。

Resolution 3: WG15(Metadata and protocol for long-term preservation)の解散

WG15 の業務が無事に終了したことを確認した。そのため、WG15 リーダであった Claire Sibille-de Grimouard と WG15 の他のメンバーに対して感謝をし、WG15 の解散を決定した。各国のメンバーには、ISO 20614:2017(Data exchange protocol for interoperability and preservation website)の利用事例や実装例が出てきた時点で、SC4 事務局へ報告することが求められた。

Resolution 4: ISO 15511:2011(International standard identifier for libraries and organizations: ISIL)のマイナーな改訂

2018 年 6 月 15 日までに Danish Standards は ISO 15511:2011 の FDIS 投票用のマイナーな改訂案を SC4 事務局まで提出する。WG8(Library Codes)の活動を再び開始し、リーダーを割り当てる。SC4 事務局は各国メンバーに専門家の推薦を依頼する。

Resolution 5: Dublin Core application profiles

SC4 は各国メンバーに 2018 年 6 月 30 日までに Dublin Core Usage Board の基準に合うような Dublin Core の application profile を WG16 リーダまで提出する

Resolution 6: 謝辞

ホストへの感謝